

内閣府  
特命担当大臣表彰  
優良賞

東京都推薦

# 有限会社さいとう工房

(東京都墨田区)

## 【概要】

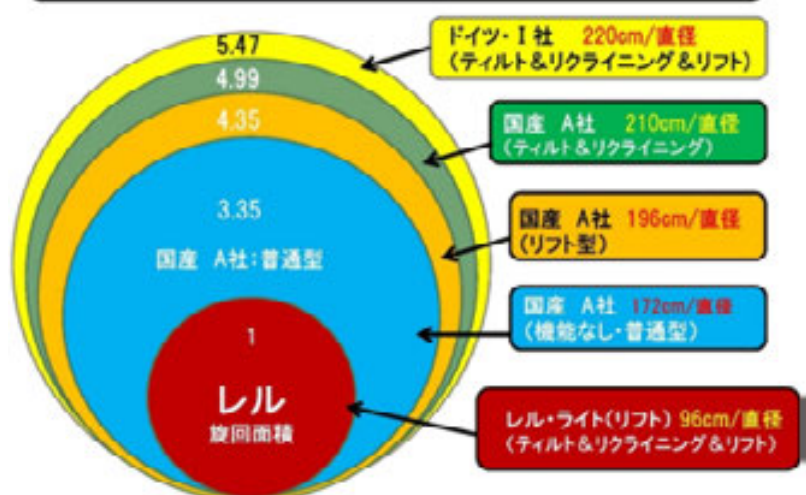
- 誰もが入手しやすい市販機で、オーダーメイドに近い多機能電動車椅子を作ることを目指し、6年の歳月をかけて多機能選択型電動車椅子「レル・シリーズ」を開発した。
- 「レル・シリーズ」は、まだ日本で普及していない\* 6輪型を採用し、直径96cmでの小さな旋回や大幅な軽量化を実現し、屋内外での傾斜がある場所においても同社開発の独自機構（平成25年4月特許取得）により、安心・安全を利用者に提供する段差越え機能を備える。また、座面の奥行、幅、高さ、座角を機械操作で簡単に調整できるようにし、寝ることを可能にしたティルト・リクライニング機能、食事や洗面時に必要な適度な姿勢をつくりだす座角変換機能等も備えている。

\* 補装具費の支給制度を利用する際の額の算定基準に関するJISの規格において、電動車椅子が「前2輪、後2輪の四輪で構成したもの」と定義されていることが原因の1つであると考えられる。社長は、JIS開発委員会及びその分科会の委員の一人として、平成28年度末までの改正JIS原案の作成にも尽力。



レル・シリーズ

## 6輪構造・旋回面積の比較



## 【特に顕著な功績・功労】

- 「レル・シリーズ」は、既存の大型となる多機能電動車椅子と比べ、非常にコンパクトに作動し、また、日本の住環境や生活様式から考えられた様々な機能を備えており、利用者に配慮した電動車椅子となっている。また、利用者の活動範囲が広がっただけでなく、就労にもつながったなど、障害者の社会参加にも貢献している。
- 販売台数を増やせなくても、ユーザーの体や障害の特性に合わせて微調整・フィッティングを繰り返しながら作製している。
- 日本で不要になった電動車椅子を発展途上国へ提供するとともに、現地での技術指導や、海外からの研修生の受け入れを行う事業（NPO「さくら・車いすプロジェクト」）を立ち上げるなど、海外での多機能電動車椅子普及にも貢献している。



さくら・車いすプロジェクト

- 障害者・高齢者と健常者の境のないユニバーサルデザインの実現に向けて取組を強く推進しており、その姿勢は特筆に価する。同社は、電動車で障害者・高齢者が、自分らしく自立した生活を送ってもらうためのきっかけになればとの思いを込めて製作・開発などに当たっており、2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会を契機とした就労支援型電動車椅子の開発を目指している。